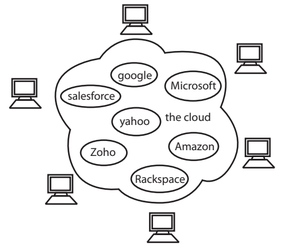
Super Mini House

50% ROOF / 50% INSIDE



PC(ハード機)にあった機能(メール保存機能やファイル保存など)は、ネットワーク内に溶込み、徐々に我々の手元から離れている。(クラウド現象)

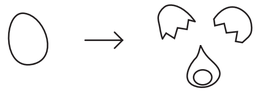
住宅においても同様の現象が見られる。
家の中で行われていた機能は次々に都市へと溶けていっている。

しかし、我々の家がそのまま都市へと消えていくわけではない。
逆に、自分の居場所を確保するような、シェルターとしての機能はこれから必要とされるだろう。
ただ、家の機能が都市へ溶込むことで、限りなく都市と家の空間は近付いていく。

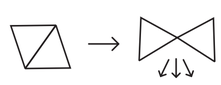
そう考えると、開くときは限りなく外部へ、閉じるときは限りなくシェルターとして機能するような住宅が必要になるのではないだろうか。

小さな平面こそ、その住宅の構想にふさわしく、更に現代の空間性を反映させた住宅モデルになるのではないかと考えた。

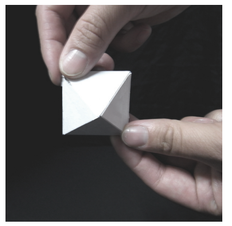
「クラウド」(雲)は、ネットワーク(通常はインターネット)を表す。従来より「コンピュータシステムのイメージ図」ではネットワークを雲の図で表す場合が多く、それが由来と言われている。
従来のコンピュータ利用は、ユーザー(企業、個人など)がコンピュータのハードウェア、ソフトウェア、データなどを、自分自身で保有・管理していたのに対し、クラウドコンピューティングでは「ユーザーはインターネットの向こう側からサービスを受け、サービス利用料金を払う」形になる。



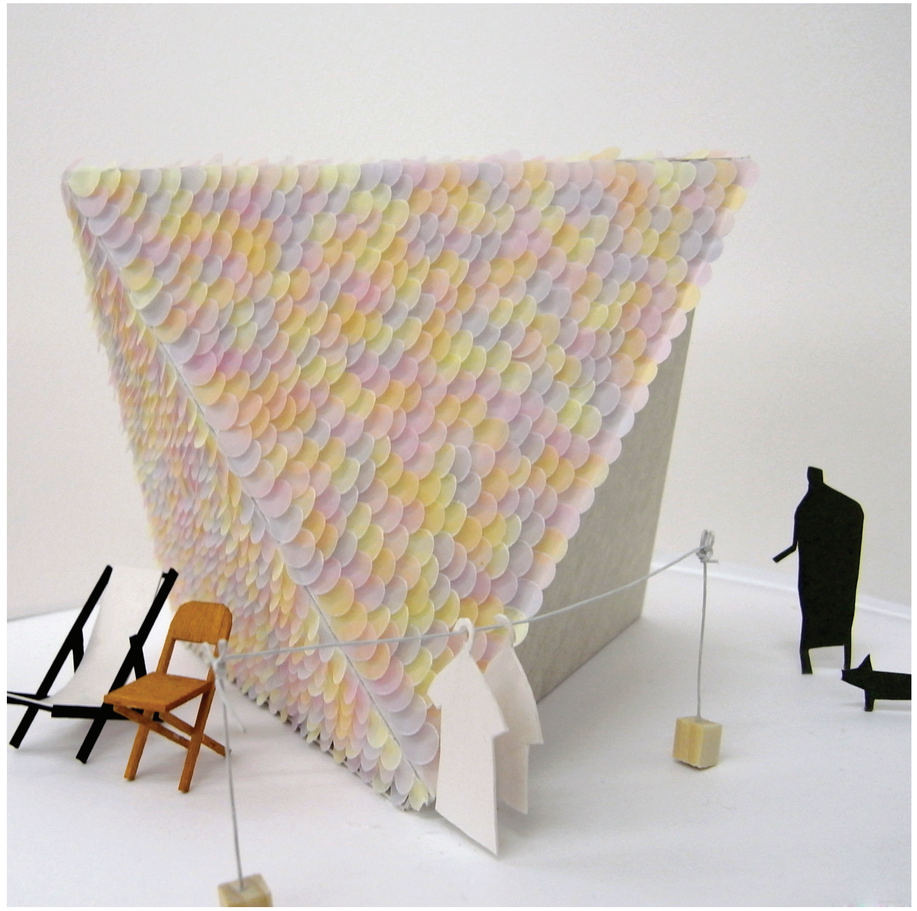
生卵。殻の中にある中身が、
割った瞬間に飛び出す。

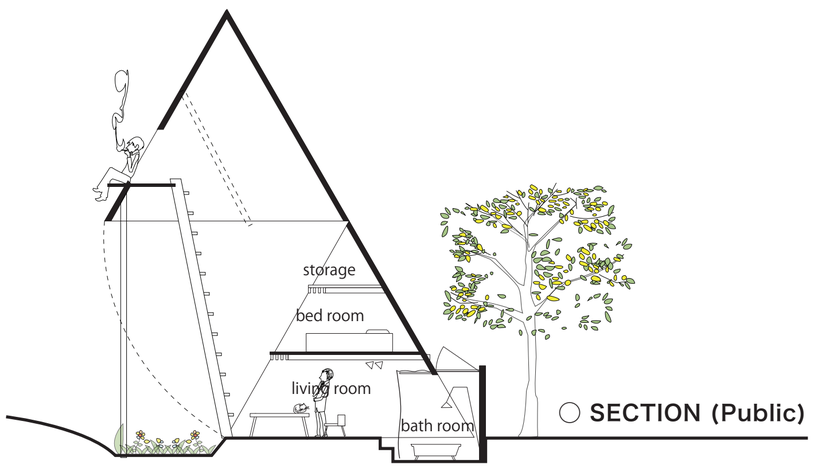


今までコアにあったモノが
都市に対して飛び出すイメージ。



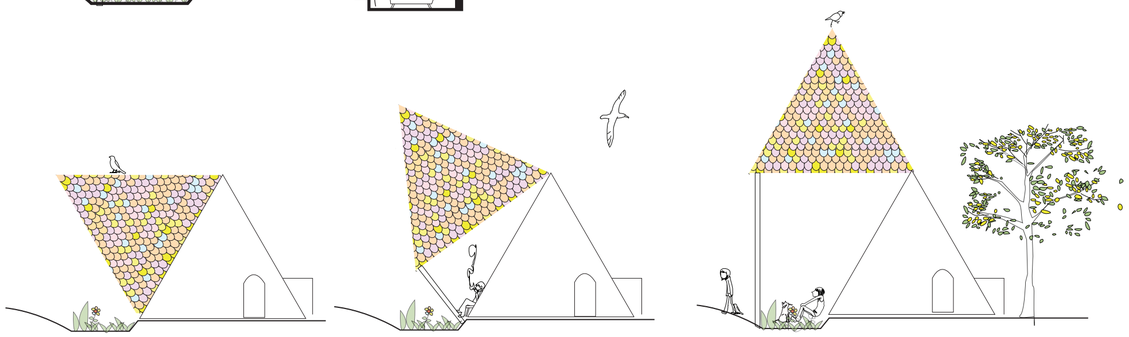
四角錐を2つ重ね合わせたカタチ。イエガタを模したカタチにも見える。

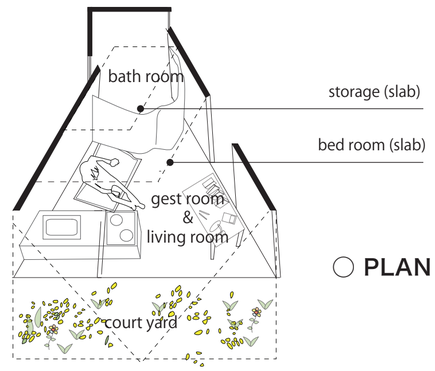




○ SECTION (Public)

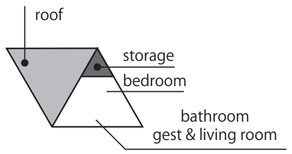
○ SECTION (Private)



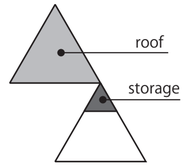


○ PLAN

SO PRIVATE



SO PUBLIC



屋根がくっつくことによって、強固なプライベート空間になる。
屋根が開くことによって、外部へ開ききった空間がつくられる。

都市に対して、非常に堅いカタチと、非常に開いたカタチを併せもつ。
住宅の持っている変数が一変する。